



清水てつじ

〒520-1121 高島市勝野129-3
TEL 0740-36-2077 FAX 0740-36-0237

http://shimizu-tetsuji.jp

県議会 レポート

2013年1月発行



今津町弘川「ザゼンソウ」

11月定例県議会

12月19日、一般質問にたちました

知事の政治姿勢について

Q 市町や県民に説明がないまま、突然党首に就かれたことに対し、県民の負託に反する行為という声も耳にするが、知事の職務に対する考えを伺う

A 知事 改めてお詫び申し上げます。地方の課題、政策を確実に推進するためには、国政に関与することが有効と実感しました。国政に関与することで、県政の課題解決と、県民の負託を受けた知事の職務を果たすことにもなります。

Q 衆議院選挙で、党首と知事とを兼務することでの県政への影響について

A 知事 党首討論などで琵琶湖の危機、女性や子どもの抱える問題、雇用政策などマスコミや遊説で訴え、滋賀県存在感、琵琶湖の危機を示せたと感じています。国政では見えない地方に根付いた問題、より効率的、効果的な政策を具体論として提案できる足がかりを得たと思っております。

Q 兼務することのデメリットをどう認識し、解決しようと考ええるか

A 知事 国政政党の党首としての立場と県政を運営する行政の長としての知事の立場は、わかまえないならばなりません。国への政策提案などについては、知事の職務に力を尽くす所存で、国も知事としての真摯な対応をして頂けると考えます。一方、地方自治の声を国政で議論できる機会をもて、県民益、住民の思いに即した政策を実現できる回路が開くことは大きなメリットと考えます。

Q 知事の職責を全うして頂きたい。そして、失いかけた県民の信頼を



取り戻すために、誠心誠意、県民の為に頑張ってください。どうお考えか

A 知事 知事の職責を全うし、信頼を得られるよう全力で訴え成果もあげていただきたいと強く信念を持ってあたりたいたいと思います。

防災対策の避難道路としての国道161号の整備について

Q 小松広幅の現状と今後について

A 土木交通部長 現道は非常に狭隘で人家も密集しており、交通安全の確保、沿道環境の改善が喫緊の課題です。今年度で用地測量と物件調査がほぼ完了し、用地取得が実施される予定です。

Q 今度どのように安曇川地区の高架を完成させるのか

A 土木交通部長 安曇川右岸から青柳交差点までの1kmの区間につきまして、青柳北交差点改良事業として立体的に着手されたところです。今年度は、この1kmの区間の調査設計を実施すると思っています。

Q 安曇川地区2.5kmのうち1kmは立体的に着手しているというが、完了予定年度について伺う

A 土木交通部長 平成27年度内には完成する予定と聞いています。

Q 湖北ハイパスの現状と今後について

A 土木交通部長 未整備区間の4工区25kmは事故危険箇所にも位置づけられ、改善が急務となっております。今年度より、早期の用地取得に向け、用地測量が行われるところです。今後とも積極的に取り組むと聞いています。

Q 高島市民の状況を踏まえ、国道161号ハイパスの早期全線整備について所見を伺う

A 知事 国道161号は、本県の地域防災計画で第一次緊急輸送道路に位置づけられており、大規模災害時の生命線として大変重要な役割を担う道路と認識しております。日も早く全線整備できるような、一層の事業推進を県も負担し、国に対しても積極的に要望して参りたいと考えます。

会派活動報告

8/28 県産材木活用について調査



彦根東高校 新築木造校舎の工事現場を見学。被服室、調理室、音楽室などが年度末に完成する予定。県産材木を活用し森林保全・地元雇用を促す。高コストや防火性、耐震性にも優れ、防犯面や緊急避難場所としての機能も万全。

8/20 県内の河川状況について調査



丹生ダム建設事業の現状、姉川・高時川の河川整備状況、余呉湖利水の現状、姉川ダムの施設概要と洪水調節状況等を調査。

9/4 高校再編問題について調査



兵庫県立阪神昆陽高校(多部制単位制)と阪神昆陽特別支援学校が平成24年4月併設開校。ノーマライゼーションの理念を推進するため、管理職が両校を兼務。開校準備の段階から慎重かつ計画的に進めてこられた点など伺った。

10/19 虐待・DV被害について調査



児童虐待、DV相談などに対し、迅速に対応するとともに、啓発活動に取り組んでいる中央子ども家庭相談センター。虐待やDVの発生要因は、複雑に絡み合っていることから、児童福祉司や児童心理司などの専門職員の確保・育成と施設の過密化について伺った。

討論

「活断層の疑いが極めて高い敷地内に設置されている大飯原子力発電所3号機および4号機の運転停止を求める意見書の提出を求めるところについて」の請願が、総務・企業常任委員会へ不採択となったことに対し、「活断層と指摘する専門家が限り、疑わしきは活断層である。」との観点から、原発の立地地点としては、ふさわしくないと判断すべき。地震は、いつ発生するかも知れず予知することも極めて困難であり、速やかに大飯原発再稼働の停止を求めることは、多くの県民・国民の願ひである。」と討論。



「知事と国政政党の役割の兼務解消を求める決議案」に対し、「若狭の原発群から近畿1,450万人の生命の水である琵琶湖や、滋賀県民の命を守りたい」という知事の熱い思いはわかるが、県民は、重責を兼務すること、純粹に心配している。私たちは、嘉田知事の功績と知事職の大変さを理解するものであるからこそ、国政政党の党首と知事を一人で担うことは出来ないと考えている。知事自ら、初心に立ち返り、共に歩んできた人、知事の真摯な行政責任者がぶりに理解協力してくれたい。政を県民とともに推進するため、知事の職務に専念し、職責を全うされるべきだ。」と討論。

